

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は従来農村地帯であったが、北部にＪＲ佐倉駅、南部に国道５１号線と交通の便や地理的条件に恵まれて、昭和３５年を機とした高度経済成長の波にのった開発がおこなわれ、その一部が工業地域に指定されて昭和４０年頃から大小の工場が次々に進出してきた。また、昭和４７年に東関東自動車道が開通し、一層都市化に拍車をかけた。以前の山林、田畑はつぎつぎと宅地造成され、新しい家々が建ち並び住宅地になり、新しい住民が多くなってきた。

地域全体をみた場合、農村地域と住宅地域、さらにはＪＲ佐倉駅周辺、あるいは県道沿いの商店、工業団地といった地域構成となっている。根郷地区の面積は市全体の１６．９％に当たる１７４６ha、人口は１４．３％に当たる２５，１１６人であるが、今後も人口の増加が見込まれている。近年の宅地開発等によって、藤治台・大作・大崎台・山王・春路・表町等の新しい大字地名が加わり、新しい麓の列なる美しい町並が広がっている。しかし、南部地域を中心に自然豊かな山野・田畑も多く残されている。また、学校は根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校、千葉敬愛大学があり、学園地区としても注目されている。

根郷地区の概要

地区面積 １７．４６Km²

（市面積１０３．６Km²）

地区人口 ２５，１１６人

（市住民基本台帳人口

１７５，９１４人）

人口密度 １，４３８人/Km²

（市人口密度１，６９８人/Km²）

平成２２年３月末現在

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として根郷地区の実態をふまえ、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるようにつとめる。

努力目標

より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応につとめる。

幅広い年齢層の幅広い要望に答える多様な事業を展開する。

地域の人材の力を地域に還元する橋渡し役となるようにつとめる。

郷土意識の高揚、社会問題への関心の喚起につとめる。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供

提供日時 月・火・日曜日（第2・4月曜日は休館） 9：00～17：00

水・木・金・土曜日 9：00～21：30

使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

（予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

休館日 毎月 第2・4月曜日・年末・年始

(2) 備品の提供

館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。

佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

2. 学級・講座・講習会・見学会

参加者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育の各事業にわけて実施する。

3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

2 . 公民館の利用状況

月別利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用件数	279	280	281	293	253	260	280	262	245	247	266	273	3,219
利用人数	3,005	3,124	2,832	3,335	2,297	2,762	3,143	2,681	2,676	2,484	2,846	2,852	34,037
開館日数	28	29	28	29	29	28	29	28	25	25	26	29	333
使用料金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分別利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
主催 事業	件数	7	20	45	31	42	10	22	14	10	18	17	14	250
	人数	114	486	505	526	260	192	386	294	90	177	309	269	3,608
団体 利用	件数	271	259	236	258	198	250	251	247	229	229	249	259	2,936
	人数	2,889	2,598	2,327	2,564	1,934	2,570	2,573	2,378	2,487	2,307	2,537	2,583	29,747
教育 機関	件数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	人数	0	0	0	245	0	0	0	0	0	0	0	0	245
行政 機関	件数	1	1	0	0	13	0	7	1	6	0	0	0	29
	人数	2	40	0	0	103	0	184	9	99	0	0	0	437

年度別利用状況

年度 区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
利用件数	3,177	3,266	3,320	3,285	3,219
利用人数	35,786	37,124	36,299	35,500	34,037
開館日数	333	333	334	333	333

事 業 の 部

領域	事業名	内 容	対 象	期 間 ・ 回 数
家庭教育	ぼっぼちゃんくらぶ	親子で一緒に運動や絵本、手遊びなどを楽しみ、子供の様々な発達を図るとともに、親子の関係を見直す機会とした。また、父親参加の参加日を各コース2回を設け、親同士の交流を図った。インフルエンザのため後期は4回で中止とした。	2歳児と保護者 27組 (20組×2コース)	前期： 5月～7月 後期： 10月～12月 各コース 12回
	親子ふれあい体操	乳幼児が体を動かすことにより体などの発達の促進を図った。遊びを通して家族の係わり方を学び、同じ子を持つ親の仲間づくりの場、情報交換の場として実施した。	幼児と保護者 67人	7月 1回
	家庭教育共通事業(食の大切さ)	正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、特に朝食の大切さ等を学んだ。	小学生以上の保護者 10人	1月 1回
青少年教育	親子交流	地域の特産品(米粉・そば粉)などを利用し、調理体験を通して親子の交流を図った。	小学生と保護者 62人	8月、1月 2回
	通学合宿	異年齢の子ども達が親元を離れ、共同生活をする事により、自主性・協調性を高めた。また、地域住民との交流も図ることができた。	小学生 4～6年 20人	6月21日～ 24日 (3泊4日)
	体験学習・ものづくり	おもしろ科学実験隊、わくわくキッズなど体験型の事業を開催し、子供のやる気や自主性・協調性を養った。	小学生 91人	年間 7回
	映画鑑賞会	映像教材をとおして子供たちの健全育成を図った。	幼児～小学生 90人	8月、3月 2回
	佐倉っ子塾 共通講座 (環境講座)	環境意識を育む講座(印旛沼などの自然環境やその他自然体験学習をし、環境への意識を育む。)を実施した。	地区の小学生 33名	8月、10月 2回
	佐倉っ子塾 共通講座 (創造力養成講座)	創造力を育む講座(水彩画の学習を通して子どもの創造力や研究心などを育む。)を実施した。	地区の小 学生 20名	8月 2回
成人教育	健康づくりの講座	室内で簡単にできるボクシングエクササイズや肩こり解消運動を中心に学び、健康の保持増進を図った。	成人 24人	10月 2回

成人教育	人権講座	いじめや児童虐待など地域問題を中心とし取り上げ、人権問題について考えた。	成人 9人	2月
	パソコン講座	初心者を対象とした各種パソコン講座を実施し、地域住民の情報活用能力の育成を行った。	成人 85人	6月～2月 8回
成人教育	パソコン自由利用	ボランティアを配置し、パソコン初心者が自由にパソコンに触れる場を提供した。	成人 78人	4月～3 12回
	地域づくり入門講座	消防署の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識を向上させる機会とした。	成人 12人	2月 1回
佐倉学	体験・ものづくり講座	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得ながら、こんにゃく芋、大和芋などの地域の伝統的な素材を生かした料理講座を実施した。	成人 34人	12月、2月 2回
	根郷探訪	郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び郷土愛を高め、地域を見直す機会を提供した。	成人 30人	4月、5月、 10月 3回
	佐倉学入門講座 近代の佐倉講座	近代の根郷の教育や文化などをテーマにして、様々な郷土の変遷を学んだ。	成人 52人	5月、7月 2回
高齢者教育	寿大学	健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら、レクリエーション活動などで参加者同士の交流を図った。	60歳以上 各回 120人	5月～3月(8月を除く) 10回
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への援助	南部地区子ども会育成会連絡協議会や、根郷地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援した。	該当団体	通年
	定期利用者懇談会	公民館の活動について理解を求めるとともに、利用団体からの意見、要望を聞いた。また、グループ活動の意義について理解を図った。	利用団体 58団体	4月、5月 2回
人材育成	学生ボランティア育成	地区内の中・高・大学生に主催事業への協力を呼びかけ、若年層にも地域の輪を広げた。	中・高・大学生	随時
	講師の公募	地域の人材を活用し、公民館事業を進めることをめざし、講師の一般公募を行った。	成人	随時
	ボランティアの育成	主催事業や施設的环境美化に協力してくれるボランティアの育成及び活用を行った。	成人	通年

広報活動	根郷公民館だより	公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。	根郷地区各世帯・各事業所	4月・9月 10,900部× 2回
図書事業	図書の貸出・返却	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。	幼児～ 成人	通年 1人10冊 2週間まで
その他の	夏休み自習室	夏休みの期間中、学生等が個人学習に利用できる部屋を開放した。	小学生 ～成人	7月～8月 45日間
	卓球室開放	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供した。	幼児～ 成人	4月～3月 第1日曜日 12回

1. 家庭教育事業

ぼっぼちゃんくらぶ

開設趣旨 幼児の想像力や豊かな心を育てるうえで重要な役割を果たす絵本。絵本の読み聞かせの手法や絵本の楽しさを学ぶ。工作や遊びなどを通して、親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かすことの楽しさや同年齢の友達とふれあうことで、幼児期的人格形成を促すことを目的とする。また、地域にかえっても話し合えるような参加者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考える。

対 象 前期 平成18年4月2日～9月30日生まれの子と保護者17組 34人(延べ440人)

後期 平成18年10月1日～19年4月1日生まれの子と保護者11組 23人(延べ73人)

学習目標 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。また、運動や遊びを通して、親子の関係、地域とのかかわり、子育てについて考える。

指 導 者 前期 おはなし会メープル (えほん)・

ニッポンランナース 伊藤 友香(体操)

後期 おはなし会メープル (えほん)

ニッポンランナース 伊藤 友香(体操)

開催期間 前期 平成21年5月7日(木)～7月9日(木) 計12回

後期 平成21年10月8日(木)～10月29日(木) 計4回

午前10時から11時30分まで

保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 8人

学習プログラム

(前期)

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	講 師
1	5月7日(木)	お花が咲いた!	絵本の読み聞かせをし、折り紙でお花を作った。	おはなし会メープル
2	5月14日(木)	みんなでさかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙で魚を作った。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会メープル
3	5月17日(日)	青空の下で ～さくら庭園～	絵本の読み聞かせをし、青空の下で思いっきり走った。 お父さんにロケットを作ってもらった。	おはなし会メープル
4	5月21日(木)	手型をとろう	絵本の読み聞かせをし、手型をとり、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会メープル
5	5月28日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会メープル
6	6月4日(木)	むくむくお化けで遊ぼう	絵本の読み聞かせをし、牛乳パックで、不思議なお化けを作った。	おはなし会メープル
7	6月11日(木)	ボールを使って	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールで遊びました。	伊藤 友香 氏

8	6月18日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏
9	6月25日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏
10	7月2日(木)	器具を使って	マット、平均台などにチャレンジしました。	伊藤 友香 氏
11	7月5日(日)	新聞紙を使って ～ホール～	新聞紙を使っていろいろな遊びをしました。	伊藤 友香 氏
12	7月9日(木)	みんなで よーいドン	ミニ運動会をしました。	伊藤 友香 氏

(後期)

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	講 師
1	10月8日(木)		台風のため中止	
2	10月15日(木)	みんなで さかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙で魚を作った。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会 メープル
3	10月18日(日)	青空の下で ～さくら庭園～	絵本の読み聞かせをし、青空の下で思いっきり走った。 お父さんにロケットを作ってもらった。	おはなし会 メープル
4	10月22日(木)	手型をとろう!	絵本の読み聞かせをし、手型をとり、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会 メープル
5	10月29日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会 メープル
6	11月5日(木)		新型インフルエンザのため中止	
7	11月12日(木)		〃	
8	11月19日(木)		〃	
9	11月26日(木)		〃	
10	11月29日(日)		〃	
11	12月3日(木)		〃	
12	12月10日(木)		〃	

講座を終えて

絵本と体操というテーマの違うものの組み合わせ。子どもの性格により、興味の違いがみられるが、情操教育と、からだの発達を考えた講座。日曜日の家族参加の日は、父親、祖父母、参加児童の兄弟などで多くの参加となり、青空の下だと遊びの幅も広がり、皆とても伸び伸びしていた。

この講座を一つの契機として、2歳児という幼児期を、親としてどう子育てするべきか、楽しさや悩みも話しあいながら、同じ子どもを持つ保護者や子どもたち同士の交流を通じて、今後の家庭教育に生かして欲しいと思う。

お母さんと遊ぼう - 親子ふれあい体操と友達づくり

開設趣旨 幼児の心身の健全な発育を促す。

内 容 親子のふれあいと友達づくり

対 象 幼児と保護者 20組

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	7月30日(木) 10:00～11:30	親子のふれあい 体操と友達づく り	親子で体操をしながら、親子、友達との交流を図った。	佐藤由利子 氏 外1名	17組

講座を終えて

親子で体操を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな同年齢の幼児とその保護者同士の交流を深める機会となった。また、工作は、画用紙で「アンパンマンのペンダント」を作り親子で楽しみました。

家庭教育共通事業「食の大切さ」

開設趣旨 成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学び、調理実習をしながら楽しく身につける。

内 容 正しい「食」の知識について学ぶ。

対 象 小学生を持つ保護者 20人

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	人数
1	1月19日(火) 9:00～13:00	成長期の食生活について考える	「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学んだ。	栄養士 吉田 智子 氏	10人

講座を終えて

はじめの講義では、個食ではなく、家族みんなで食卓を囲むことや食事の大切さなどについて学ぶことができた。

調理では、普段使っている食材を、ちょっとしたアレンジで、いつもと違う食卓になることを知り、受講生は、みな驚いていた。

これを機会に継続的に食生活について考えていてもらいたい。

2. 青少年教育事業

親子交流

開設趣旨 親子で調理体験を通して、親子の交流を図る。

内 容 親子クッキング

対 象 小学生と保護者 20人

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	人数
1	8月18日(火) 9:30～13:00	親子クッキング	米粉を使った料理作り	富田 恵美子 氏	21人
2	1月23日(土) 9:30～15:30	親子クッキング	親子でそば打ち体験	根郷そば道場	41人

講座を終えて

学校給食にも取り入れられている佐倉産の米粉を使って、ピザやスープなどを作りました。野菜サラダなども加えた、栄養バランスの良いメニューは保護者にも好評でした。家庭においても、食事作りを通して親子のコミュニケーションが深められればと思います。

そば打ちについては、昨年に引き続き、公民館利用団体の「根郷そば道場」の方々が指導にあたってくださいました。参加者からは、そば打ちを通して、子供たちが日本の文化に触れる良い機会にもなったとの感想もあり、機会をとらえて郷土料理なども取り入れていきたいと思っています。

子ども映画鑑賞会

開設趣旨 名作映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を実現する。

対 象 小学生 2回 各50人

学習内容 根郷地域の子どもたちを中心に、映画鑑賞会を実施した。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	参加人数
1	8月21日(金) 9:30～正午	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・アルプスの少女ハイジ	47人
2	3月26日(金) 10:00～11:30	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・山古志村のマリと三匹の犬 ・トムとジェリー	43人

講座を終えて

地域の子供たちを対象に夏休み、冬休みを利用して映画鑑賞会を2回実施しました。

名作映画を通して、子供たちに友情の大切さや思いやりの心を育んでもらえたらと思います。

おもしろ科学実験隊

開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。

対 象 小学4～6年生 16人

開催期間 平成21年6月6日から12月5日までの全6回

学習プログラム

回数	実施日時	講 師	内 容	会 場	参加 人数
1	6月6日(土)	村上中学校教諭 西澤 保雄 先生	ヒル石って何? 酸とアルカリの実験	調理室	14人
2	7月4日(土)	千葉高等学校教諭 川上 義孝 先生	花や果物の色で遊ぼう	調理室	14人
3	8月8日(土)	元臼井南中学校 校長 土井 仁先生	温度の変化の実験をした ろうそくの変化について調べた ミニカイロを作った	根郷中学校 理科室	10人
4	8月29日(土)	千葉高等学校教諭 川上 義孝 先生	石鹼作り	調理室	12人
5	11月7日(土)	千葉工業大学教授 中田 昌宏先生	「浮いてこい」を作ろう 浮力の実験	調理室	11人
6	12月6日(土)	筑波大学准教授 小林 正美 先生	静電気の実験をした ストロークーツを作った 空き缶笛を作った	学習室1 プレイルーム 調理室	14人

講座を終えて

今年で10年目となる「おもしろ科学実験隊」。小学校高学年ともなればサッカーなどのスポーツ活動や習い事などで忙しくなる年齢ですが、16名の科学大好きな児童がこの6回シリーズに集まってくれた。

どの講師も子どもたちの期待にこたえる不思議で楽しい実験を用意してくださり、時間延長も度々あり、大変充実した講座となった。

2 - 1 佐倉っ子塾

共通講座 「環境講座」

印旛沼と水辺観察

開設趣旨 子供たちに地域をよく理解してもらうとともに地域の環境も理解し、故郷を大切に思う心を育てる。

対象 小学生 各20人

学習内容 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む講座とする。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	8月18日(月) 10:00~16:30	水辺観察会	印旛沼に注ぐ水の流れや、生き物について学んだ。	(財)千葉県環境財団	19人
2	10月3日(土) 13:00~15:00	印旛沼の水を調べてみよう	印旛沼の水を浄化する実験を行った。	教諭 西澤保雄氏	14人

講座を終えて

郷土の印旛沼や環境をよく理解してもらおうと企画・実施した講座である。

佐倉市の自然財産の象徴ともいえる印旛沼を取り上げ、子供たちにこの財産を残すとともに、さらには子供たちにこの自然の財産の保存を託していく願いを込めて実施しています。今回は、印旛沼の水源域と中流域に生息する水生生物について、現地で観察したり、上手繰川植生浄化施設を見学し、植物による水の浄化機能を学びました。また、各流域の水質を比較するなど、印旛沼の抱えている問題点などについて学びました。

共通講座 「想像力養成講座」

子ども水彩画教室

開設趣旨 創造力を育てる。

対象 小学生 20人

学習内容 絵を描くことにより、子どもたちの創造力を育てる。また、絵画を通して文化の理解を深めてもらう。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	8月3日(月) 10:00~12:00	水彩画教室	絵を描く時の基本編 光が当たる所と影の所を観察した。	ワールサークル (公民館利用サークル)	11人
2	8月7日(金) 10:00~12:00	水彩画教室	光が当たる所と当たらない所を意識して着色をした。	ワールサークル (公民館利用サークル)	9人

講座を終えて

子どもたちの、創造力を育てようと企画した講座です。絵を描くことにより、物には、光が当たり明るく見える部分と、光が当たらず、暗く見える部分があることを観察し、どうしたらその表現を画き表しことができるかを学びました。今回は根郷公民館で活動をしている団体（ワールサークル）のご協力のもと、子どもたちに絵をとおして、創造力を育てるお手伝いをさせていただきました。

この講座が、少しでも子供たちの創造力を育てるのに役立てればとおもいます。また、佐倉の文化にも興味を持って頂けたらと願うところです。

3 . 成人教育事業

健康づくり講座

開設趣旨 運動を通して健康の保持・増進といった身体的効果や、ストレスを発散させ精神的な充足感や楽しさが味わえ、日常的に運動が行えるようサポートをする。また、参加者同士の交流も深める。

対 象 成人 25人

学習目的 運動を通して健康の保持・増進について学ぶ。

開催期間 2回

学習プログラム

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加人数
1	10月24日 (土)	リフレッシュ 体操	ボクシングエクササイズをはじめ肩こり解消体操やリラクゼーション運動を学んだ。	AFAA公認 吉田 やよい 氏	14人
2	10月31日 (土)	リフレッシュ 体操	"	"	10人

講座を終えて

AFAA 公認の吉田やよい講師を迎え、日常生活の中で手軽におこなえる肩こり解消の運動について学びました。ボクシングエクササイズをはじめ、肩こり解消体操、リラクゼーション運動など個々の体力に合わせた運動を行いました。参加者からは「健康のため今後も運動を続けていきたい」など、健康に関する関心の強さを感じました。今後もニーズに合わせた講座を開催したいと思います。

人権講座

開設趣旨 児童虐待と子どもの人権について考える。

対 象 成人 各15名

学習目的 児童虐待の実態を知り、子どもたちを守るために大人たちが何をすべきなのかについて学ぶ。

学習プログラム

回数	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	2月16日(火) 10:00~12:00	児童虐待と子どもの人権について考える。	児童虐待の現状や市の設策について、説明を受け、対応方法などを学んだ。	児童青少年課 飯野 弥生 主査	9人

講座を終えて

参加者からは、「身近に児童虐待があることを知り、心が痛んだ。」「コミュニティが希薄な現代においては、子育てで母親が孤立しないよう周りの関わりが大切だ」など意見が出され、家族などとのコミュニケーションの大切さについて、学べた。

体験・ものづくり講座

開設趣旨 根郷地区の人材を活用し、地元の食材を使用したモノづくりを通じて市民の交流との交流と地域への関心を高める。

対 象 成人 各20名

学習目的 地域の人材を活用し、自ら学び、地域づくりにつなげる。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	12月11日(金) 9:30～13:00	こんにゃく作りに挑戦!	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦した。	地域指導者	23人
2	2月7日(日) 9:30～13:00	染め物にチャレンジしよう!パート	香料がないナチュラルな石鹼作りを学んだ。	千葉高校教諭 川上義孝氏	11人

講座を終えて

こんにゃく作りについては今年度で4回目となり、地域指導者の協力により、地元で取れたこんにゃく芋を使用したこの講座も定着してきた。

パソコン講座

開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

対 象 成人 各回15人

開催期間 年4講座 全8回

学習プログラム

回数	実施日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	6月12日(金)	初歩のパソコン ～インターネット活用編～	「パソコンとは...」から各機能の説明・文字入力やインターネットの基礎について学んだ。	坂井 稔氏 外3人	8人
2	6月13日(土)	初歩のパソコン ～インターネット活用編～	「パソコンとは...」から各機能の説明・文字入力やインターネットの基礎について学んだ。	坂野 光弘氏 外3人	9人
3	9月4日(金)	ワードで地図入り案内状を作ろう	地図入り案内状の作り方を学んだ	大木 敏男氏 外4人	14人
4	9月5日(土)	ワードで地図入り案内状を作ろう	地図入り案内状の作り方を学んだ	橋本 雅之氏 外5人	10人
5	11月20日(金)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	大木 敏男氏 外3人	10人
6	11月21日(土)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	森 克子氏 外3人	9人
7	2月5日(金)	ワードで写真入り名刺を作ろう	名刺の作成方法について学んだ。	大木 敏男氏 外3人	14人

8	2月6日(土)	エクセル入門	エクセルの基礎について学んだ。	坂井 稔 氏 外4人	11人
---	---------	--------	-----------------	---------------	-----

講座を終えて

毎回定員を超える申込みがあり、抽選を行うほどでした。(当日欠席有)

どの受講生も熱心に取り組んでいて、講座が終わるころには、かなり上達しているようでした。ここで行うのは、基礎的なことなので、これから各自学習していってほしい。

パソコン自由利用

開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

対 象 成人 各回 20人 (延べ 78人)

開催期間 毎月最終日曜日 午前 10時～正午/午後 1時～午後 3時

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師
12	毎月最終日曜日	情報活用能力の育成を行う	各自で教材を持ち込み、各で学習した。わからない所をボランティアに質問をした。	パソコンボランティア各回 3人

講座を終えて

どの受講生も熱心に取り組んでいて、講座が終わるころには、かなり上達しているようでした。ここで行うのは、基礎的なことなので、これから各自学習していってほしい。

地域づくり入門講座

開設趣旨 消防署の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識の向上を図る。

対 象 成人 20人

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学習内容	講 師	参加人数
1	2月22日(月) 9:00～10:30	消火器の使い方を学ぼう	初期消火訓練	佐倉消防署 職員	12人

講座を終えて

防災については、消防署職員の指導のもと、火災が起きた時に安全・確実に初期消火に当たれるよう、消火器による消火訓練を実施しました。

3 - 1 佐倉学講座

佐倉学入門編

郷土史講座

開設趣旨 近代の佐倉を中心として学び、根郷地区をよく知ってもらおうと企画実施しています。特に入門編では佐倉の歴史に興味を持って頂くことを狙っています。この講座がこれから地域の歴史を学ぼうとしている人の手助けとなることを目的としています。

対 象 成人 各50人

開催回数 2回

学習プログラム

回数	日 時	テ マ	学 習 内 容	講 師	人数
1	5月30日(土) 10:00~12:00	近代の佐倉 教育につくした 人々	江戸末期から明治の教育について新聞や古記資料などをもとに当時の教育について学んだ。	千葉県郷土史研究 協議会 会長 樋口 誠太郎 氏	31人
2	7月26日(日) 10:00~12:00	近代の佐倉 昭和期の根郷	昭和初期から昭和20年位を中心とした根郷地区について学んだ。	中村 正弘 氏	21人

講座を終えて

佐倉市の歴史入門講座として地域の歴史に興味を持って頂けるよう講座を実施しています。近代の佐倉の内容としては、明治末期、理想的農村を作り質の高い農村を作ることが国策の一つとして、県内でも何ヶ所かの模範村づくりが行われ、先ず第1として印旛郡根郷村が選ばれたことや、鏡宝寺を校舎に充て授業を始めるなど、県内でも教育の中心的な地域であったことを学びました。

近代の佐倉では、昭和の時代性ということで、戦時下における普通選挙や経済更生運動の展開、産業組合活動、交通などについて57連隊との関連を交えながら学びました。

この講座は入門編として実施しているので、地域の歴史に興味を持って頂くことを目的とし、地域発展の歴史をわかりやすく講義してもらうよう努めています。郷土史は学ぶ内容が豊富で参加希望者も多く、講座生は熱心に話を聞いています。歴史講座は、毎年中高年を中心に根強い人気があり、郷土の学習講座として今後も継続的に実施していく必要があると思います。

根郷探訪

開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び散策を交えて、郷土史を理解する。

対 象 成人 各20人

学習目標 郷土の歴史・文化・自然をテーマに散策を行い、歴史の街佐倉について理解を深め、郷土愛の育成を図る。

開催回数 3回

学習プログラム 前期

回数	日 時	テ マ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	4月25日(土) 9:30~12:00	川村美術館周辺	佐倉市の自然を散策しながら早春の野草を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について関心を促す。	千葉県自然観察 指導員 近藤維久子 氏	11人
2	5月22日(金) 9:30~12:00	六崎・石川東地区 散策	城・麻賀多神社、普門院観音寺、弁天神社、時崎城址、菅原神社、六崎歩道橋(開かずの踏切)など根郷地区の歴史散策を行った。	佐倉城址公園 ボランティア	8人
3	10月25日(日) 9:30~12:00	川村美術館周辺	川村美術館庭園内の自然散策を行った。	佐倉城址公園 ボランティア	11人

講座を終えて

根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、地域の自然・歴史に興味を持っていただけるよう実施しています。第1回目は、川村美術館周辺を散策し、春の山野草や里山、古木などを観察しました。第2回目は、城・麻賀多神社、普門院観音寺、弁天神社、時崎城址、菅原神社、六崎歩道橋(開かずの踏切)など根郷地区の歴史散策を行いました。城・麻賀多神社のお祭りや第5代根郷村長の渡辺庄治氏の話などを聞き、地域にまつわる歴史散策が行われました。

第3回目は、川村美術館の広大な庭園において散策を行いました。

参加者からは、地域の歴史や地理が良くわからないこと、野草や野鳥など身近に自然と親しめる機会がほしいとのことから、今後も、講座を続けて頂きたいなどの言葉を頂き、公民館では郷土史を学ぶことで地域を理解していただけるよう、講座を継続していきたいと思っています。

4 . 高齡者教育事業

寿 大 学

開設趣旨 現在、激しい社会変動の中で高齢化社会を向かえている。このような社会情勢の中で高齢者が充実した生活を過ごす為には、健康保持・生活文化・地域問題などについて情報収集し、学習する必要がある。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を、目指しています。

対 象 60歳以上の市民 120人

学習目標 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康保持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。

開催期間 平成21年5月15日から平成22年3月19日まで

学習プログラム

回	月日(曜)	学習テーマ	学習内容	主な講師
1	5.15(金) 9:30-12:00	開 講 式 オリエンテーション	1年間の予定説明等	館長他
		班 編 成	班の確認と、 運営委員の選出等	
		佐倉を知る	ビデオ映画鑑賞	「房総の人物・堀田正睦」 「成田詣で今昔」
2	6.19(金) 10:00-12:00	きちんとした食事	60歳からの食事	栄養士 六崎 美知代 氏
3	7.17(金) 10:00-12:00	音楽コンサート	民謡と和楽器の しらべ	津三和会 澤田 和糸 氏
4	9.18(金) 8:00-17:00	社会見学 (自由参加)	銚子方面	ヤマサ醤油 航空博物館
5	10.16(金) 10:00-12:00	近代の佐倉	小説「坂の上の雲」の時 代と佐倉ゆかりの人々	文化課 課長 内田 儀久
6	11.20(金) 10:00-12:00	鳥の変遷	鳥の習性や鳥の変 遷を学ぶ	日本野鳥の会 浅野 俊雄 氏
7	12.18(金) 10:00-12:00	名画鑑賞	名作映画	「禁じられた遊び」
8	1.15(金) 10:00-12:00	佐倉市の歴史と町の 風景	写真で見る佐倉	文化課 課長 内田 儀久
9	2.19(金) 10:00-12:00	健康増進	長く健康を保つため の予防とリハビリ	高齢者福祉課 岩本 絵己
10	3.19(金) 9:30-12:00	時事問題	講義と閉講式	NHK成田報道室 関根 智裕 氏

講座を終えて

寿大学は、根郷地区以外の参加者も受け入れ、高齢者の交流の場としての役割を中心とし、10回の講座を実施している。また生涯学習の観点から卒業をなくしいつまでも学ぶ姿勢を重視している点も寿大学の特徴である。

プログラムの編成や企画なども、受講生の意見を参考にし、受講者の代表からなる寿大学運営委員会の意見を聞き、決めていくのも特徴の一つである。

この様に自主運営方法を取り入れ12年が経過し、結果が徐々に実ってきているように見える。授業の欠席者も少なくなってきたように感じるとともに、カリキュラムも健康と歴史、文化を中心に組み立てられるようになってきた。

今後も、高齢者の交流の場を保持しながら、健康を意識した寿大学の実施にさらに努めていきたい。また忘れてはいけません。

『寿だより』の発行も受講生自らが編集委員会を結成し、取材・編集をこなしパソコンを活用して発行しており、公民館としてもその活動維持に努めていきたい。